



会 社 名 黒田精工株式会社
 代表者名 取締役社長 黒田 浩史
 (コード番号 7726 東証 第 2 部)
 問合せ先 経理部長 荻窪 康裕
 (TEL 044-555-3800)

業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 30 年 8 月 10 日に公表した平成 31 年 3 月期（平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日）の業績予想および配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 平成 31 年 3 月期 第 2 四半期（累計） 連結業績予想数値の修正（平成 30 年 4 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日）

(単位：百万円)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	8,700	410	390	230	40 円 93 銭
今 回 修 正 予 想 (B)	8,900	750	710	470	83 円 62 銭
増 減 額 (B-A)	200	340	320	240	
増 減 率 (%)	2.3	82.9	82.1	104.3	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 30 年 3 月期)	7,776	246	262	134	23 円 92 銭

(2) 平成 31 年 3 月期 通期 連結業績予想数値の修正（平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日）

(単位：百万円)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	17,600	840	800	480	85 円 41 銭
今 回 修 正 予 想 (B)	17,800	1,180	1,120	720	128 円 11 銭
増 減 額 (B-A)	200	340	320	240	
増 減 率 (%)	1.1	40.5	40.0	50.0	
(ご参考) 前期通期実績 (平成 30 年 3 月期)	16,117	522	496	252	45 円 01 銭

(3) 平成 31 年 3 月期 第 2 四半期（累計） 個別業績予想数値の修正（平成 30 年 4 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日）

(単位：百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	7,300	400	380	250	44 円 48 銭
今 回 修 正 予 想 (B)	7,750	660	660	430	76 円 51 銭
増 減 額 (B-A)	450	260	280	180	
増 減 率 (%)	6.2	65.0	73.7	72.0	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 30 年 3 月期)	6,672	254	270	169	30 円 19 銭

(4) 平成 30 年 3 月期 通期 個別業績予想数値の修正（平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日）

(単位：百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	14,800	820	780	500	88 円 97 銭
今 回 修 正 予 想 (B)	15,250	1,080	1,060	680	120 円 99 銭
増 減 額 (B-A)	450	260	280	180	
増 減 率 (%)	3.0	31.7	35.9	36.0	
(ご参考) 前期通期実績 (平成 30 年 3 月期)	13,639	554	576	439	78 円 38 銭

(5) 修正理由

①第2四半期累計期間

第2四半期累計期間における当社グループの売上は豊富な受注残をベースに堅調に推移いたしました。利益面においても収益性及び生産性の向上に努めた結果、当初の計画を上回る見通しとなったことから今回修正を行うものです。

②通期

通期業績予想につきましては、足元の受注に一服感があることや世界経済情勢における様々なリスク等を考慮し、現時点においては、単体・連結とも上期実績見通しに当初発表の下期予想分を加味した数値としております。今後の業績動向を見ながら、修正の必要性が生じた場合には、速やかに開示いたします。

2. 配当予想の修正

(1) 修正の内容

	年間配当金額				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成30年8月10日発表)	—	—	—	20.00	20.00
今回修正予想	—	—	—	25.00	25.00
当期実績	—	—	—		
前期(平成30年3月期)実績	—	—	—	12.50	12.50

(2) 修正の理由

当社の配当政策は、企業体質強化のための内部留保の充実を勘案しつつ、業績に裏付けられた安定的な配当を継続して行うことを基本方針としております。

期末配当につきましては、上記のとおり当初発表の業績数値を上回る見通しとなったことから、1株当たり25円を予定することといたしました。

※上記の予想は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上